

令和6年度（2024年度）予算執行方針

1 予算の概要

本年度の予算は、骨格予算として編成しており、市長公約に掲げた新たな政策的な取組については、6月補正予算以降で対応することとしている。しかしながら、市民生活に直結し、継続することで効果を発揮する取組や国・東京都との連携、予算措置に応じた取組など、「八王子未来デザイン2040」の実現に向け、いち早く取り組むべき事業については、当初予算に計上したところである。

2 予算執行の考え方

当初予算においては、歳入の大宗をなす市税収入が定額減税分を除いてもなお減額を見込む一方、歳出では、少子高齢化の進行に伴う社会保障関係経費の増加や大型事業等の進捗による投資的経費の増加のほか、物価高騰にも対応している。そのため、臨時財政対策債の活用や財政調整基金の大幅な取崩しによる財源対策を行うことで、収支の均衡を図ったところである。

こうした厳しい編成過程を踏まえ、予算に計上した歳入の確実な収入確保はもとより、積極的な情報収集により新たな歳入の確保、増収にも努めること。また、市有財産の有効活用や企業誘致による雇用の創出など、経済の好循環を生み出し、経営資源の確保につながる新たな取組について積極的に検討を進めること。

歳出予算の執行にあたっては、事業目的を達成するため、スピード感をもって着実に実施するとともに、実施手法の見直しや共創の推進など、限られた財源を有効活用し、最大の効果をあげるように努めること。さらには、国・東京都や関係機関からの情報収集に努め、刻々と変化する社会経済状況にも柔軟に対応すること。

以上のことを踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算執行にあたること。

基 本 方 針

- 1 「八王子未来デザイン2040」の実現に向け、予算に計上した各事業を迅速かつ着実に実施すること。なお、事業実施にあたっては、実施手法の見直しや共創の推進などにより、最も効率的で最大の効果が得られるよう努めること。
- 2 歳入においては、国や東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉することで、予算計上した歳入を確実に確保することはもとより、創意工夫により新たな歳入の確保、増収に向けて積極的に取り組むこと。
- 3 デジタル社会の実現に向け、行政のデジタル化にスピード感をもって取り組み、市民サービスの利便性向上と行政事務の効率化を図ること。
- 4 2050年カーボンニュートラルの達成に向け、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、省エネルギーや再生可能エネルギーを活用した取組を積極的に展開すること。
- 5 持続可能な行財政運営を維持していくため、経営計画に掲げる経営改革の取組を確実に実行すること。また、保有施設の有効活用や企業誘致による雇用の創出など、将来的な経営資源の確保につながる新たな取組について検討を進めること。
- 6 議会での予算審議を踏まえた重要な意見・要望や社会経済環境の変化に伴う市民生活や地域経済への影響などの喫緊の課題に対しては、スピード感をもって令和6年度（2024年度）の執行あるいは今後の補正予算編成において適切かつ柔軟に対応すること。